

# とよさか通信

令和8年度 学校だより  
令和8年5月11日 No.4  
文責 成田 敦子



## 今年がんばりたいこと

あっという間に4月が過ぎました。各学級には自己紹介が掲示され、楽しみに見て回りました。その中に、今年がんばりたいことが書かれている学年もありました。下の四角の中に、書かれていた目標のいくつかを紹介します。

始業式の挨拶で、目標の立て方について子どもたちに話しました。具体的な目標を立てると、目標がかないやすいことを話しました。「友達となかよくする」よりも、「一日一回話しかける」の方が、具体的にどうすればよいかわかりやすいし、できたかどうかわかりやすく、がんばりを続けやすいことを伝えました。立てた目標を時々振り返りながら、1年間がんばりぬけることを楽しみにしています。

### 【がんばりたいこと 掲示物より】

- はじめて同じクラスになった子に話しかける。
- 図書室の本をたくさん読む。
- 社会の勉強で幸田のことをたくさん知りたい。
- 給食をいっぱい食べて、元気にすごしたい。
- おいしいなすを育てたい。
- 得意なことを増やしたい。
- 漢字を全部覚えたい。
- マラソン大会で〇位をとりたい。
- 手洗いうがいをきちんとして、学校を休まない。
- 1日6回は手を挙げる。
- 大きな声であいさつをする。



一年生を迎える会

雨のため、西山に行くことができず、急きょ体育館で縦割りレクリーションを代表委員会が準備してくれました。また、臨機応変に班の子をまとめる6年生、そのときを全力で楽しむとよさかつ子すてきでした。



## 笑顔の伝播



先日、教職員の研修会があり、小児科医湯浅正太氏の「心のバリアフリー」の育み方」という演題のお話を聞く機会に恵まれました。

子どもたちは、人とつながりたいと思っている。でも、経験や交流には、不安がつきもの。その不安を解消するには、人とつながること。人とつながると、好奇心が生まれ、また、人とつながりたいというサイクルの中にいる。常に「不安」とは、隣り合わせなもの。不安を解消するための人とのつながりで大切なことは、「笑顔」。大人から子どもへの笑顔。大人から子どもへの笑顔は、子どもの心に強く影響するものである。子どもは、大人の笑顔に敏感だ。そして、講師の先生が、おうちの方にぜひ伝えてくださいと言われた言葉、「笑顔あふれる家庭には、子どもの豊かな心が育つ。」

私も、子どもたちの話をたくさん聞き、笑顔で接することで、安心して次なる一歩につながるように、子どもたちを支えていきたい、改めてその思いを強くしました。